

本書は座面下の収納部に保管してください。

COMBI

ジュニアシート

マキシコシジュニア

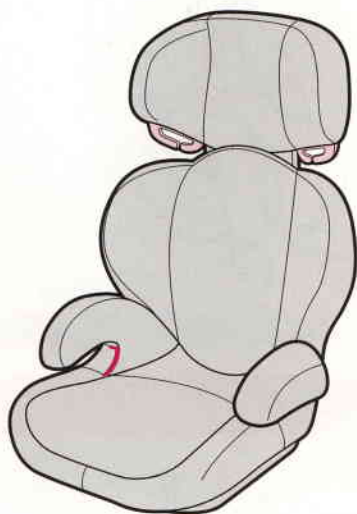
取扱説明書

E4

品質保証書付

ECE R 44/03
03442904

- お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解のうえ、記載された内容に従い正しくお使いください。
- 本書は、ジュニアシート座面下に保管してください。(9ページ参照)
- このジュニアシートは、ヨーロッパ基準 ECE R44/03を取得しています。



はじめにお読みください

■安全にお使いいただくために	1
お使いいただけるお子さまの条件	1
3点式シートベルト専用	1
取り付けできない座席	2
△ 危険	3
△ 警告	4
△ 注意	5
△ 日常の点検	6
△ 緊急時の脱出	6
■ご使用になる前に	7
■梱包品と組み立てかた	8
■各部のなまえ	9

■使いかた	10
1. 車の座席に置く	10
2. 背もたれの角度を調節する	11
3. お子さまを座らせる	11
4. ベルトガイド(ヘッドレスト)の高さを調節する	12
5. シートベルトを締める	13
6. 取り付け完了のチェック	15

■背もたれをはずして使うには	16
● お子さまの頭が背もたれより上にでた場合	
● お子さまの体重が22kgを超えた場合	
● お子さまの身長が130cmを超えた場合	
1. 背もたれをはずす	16
2. お子さまを座らせシートベルトを締める	17
3. 取り付け完了のチェック	18

■お手入れのしかた	19
-----------	----

■保管のしかた	21
---------	----

■製品仕様	21
-------	----

■品質保証書	22
--------	----

■角度チェッカー	裏表紙
----------	-----

安全にお使いいただくために

このたびは、コンビジュニアシートをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ジュニアシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。

お使いいただけるお子さまの条件

次の条件をすべて満たすお子さまにお使いいただけます。

- 体重：15kg以上～36kg未満のお子さま。
(参考年齢…3才ころ～11才ころ)
- 身長：100cm～145cm程度のお子さま。
(ジュニアシートに座り、後頭部がヘッドレストから上に出た場合は、座面部のみで使用してください)



15kg

使用禁止

3点式シートベルト
(肩ベルト)



25kg

36kg

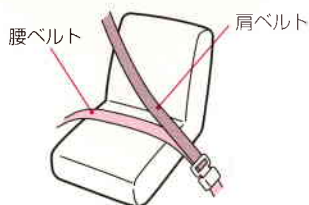
使用禁止

3点式シートベルト専用

3点式シートベルトが装備されている座席に取り付けてください。

- 3点式シートベルトとは…図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で体を支えるシートベルトのこと。

2点式シートベルト装備の座席、エアバッグ装備の座席など、「取り付けできない座席」では、安全が確保できません。



取り付けできない座席

次の条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。

- シートベルトの付いていない座席。



- パッシブシートベルトの座席。(オートマチックシートベルト)
…車の座席に座ってドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置のこと。とくに輸入車にみられます。



- 進行方向に対して横向き、または後向きの座席。



- 座面の凹凸が極端で、取り付けたときに不安定になる座席。



- 座面の奥行きが40cm未満の座席。



- 2点式シートベルトの座席。



- エアバッグ装備の座席。
サイドエアバッグのみの車には使用できません。



- 極端なバケットシート。(座面の中央が極端にへこんでいる座席)



ジュニアシートは、前座席・後座席ともに取り付けられますが、より安全な後座席への取り付けをおすすめいたします。

はじめにお読みください

安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項と、お子さま、車の座席の条件は、ジュニアシートとしての機能を発揮させて、安全に正しくお使いいただくためのものです。「危険」、「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の、切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠ 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性があります。

⚠ 危険

次のような使いかたは、ジュニアシートが本来の機能をはたさず、危険をまねくおそれがあります

- 使用条件に**適合しない**お子さま・座席などでは使用しないでください。



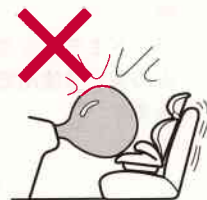
- 取扱説明書どおりに**しつかりと取り付けできない**ときは、使用しないでください。



- お子さまがジュニアシートの上で**立ったり、中腰になったり、正座をしない**ようにしてください。



- エアバッグ装備の座席ではジュニアシートを**使用しない**でください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。エアバッグの装備されていない座席で使用してください。



- お子さまを座らせたときには、シートベルトが**正しい位置で調節されていることを確認**してください。



⚠ 警告

次のような使いかたは、ジュニアシートが本来の機能をはたさず、危険をまねくおそれがあります

- お子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しの強い日などには車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故のもととなります。必ず保護者が同乗して使用してください。



- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。



- シートベルトをたるんだ状態で使用しないでください。衝突時などにお子さまが飛び出すおそれや、ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。



- 車のシートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けしないでください。



- チャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、固定機能を働かせないでください。お子さまが締めつけられ、胸が圧迫されます。(P13参照)



次のような使いかたは、同乗している方やお子さまに、危険をまねくおそれがあります

- お子さまが座っていないときでも、ジュニアシートは必ずシートベルトで取付けしてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなる場合があります。



- シフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす場合は、後座席に取り付けてください。



- 2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合には、助手席には取り付けしないでください。緊急時の脱出の妨げになります。



はじめにお読みください

⚠ 注意

- 直接日光が当たると、本体やシートベルトの差込み金具などが熱くなり、やけどをするおそれがあります。お子さまを座らせる前に各部にさわり、やけどをしないことを確認してから使用してください。



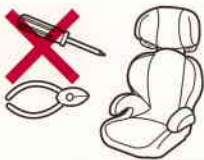
- 走行中は、各部の操作や調整をしないでください。



- 車のシートの可動部やドアに挟まないように、十分注意してください。



- ジュニアシートを改造したり、本書に記載されていない取り扱いをしないでください。



- 背もたれのみでは、使用しないでください。



- 車の座席にクッション、座ぶとんなどを敷いたままで取り付けしないでください。



- 通常の椅子として使用しないでください。座面と背もたれが固定されていないので、転倒するおそれがあります。



- 風雨にさらさないでください。



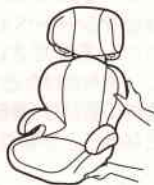
- シートクッションをはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取り替えたりしないでください。(安全性能に影響を与えるおそれがあります)



- 固定されていない物を車内に置かないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまなどに当たるおそれがあります。



- 組み立てたジュニアシートを運ぶときは、座面部から背もたれがはずれることのないよう、しっかりと支えてください。



⚠ 日常の点検

ジュニアシートの本来の機能を果たすため、お子さまを乗せた後で、下記の事項を点検してください。



背もたれをはずして使用する場合には



⚠ 緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者の方がシートベルトをはずし、お子さまを車外に脱出させてください。

ご使用になる前に

お子さまの成長に合わせて、ヘッドレストを上下させたり、背もたれと座面部を分離することにより、体重15kg(3才ころ)～36kg(11才ころ)までお使いいただけます。

お子さまの成長に合わせて、2つの使いかたができます。

体重 15kg～25kgまで
身長 100cm～130cmまで
(参考年齢…3才～8才ころまで)
背もたれの付いた状態で使用します。
肩ベルトとヘッドレストの高さが調節できます。



体重 22kg～36kgまで
身長 120cm～145cmまで
(参考年齢…7才～11才ころまで)
背もたれを取りはずし、座席部のみで使
用します。大人用のシートベルトが体に
フィットするように、座高を上げる役目
を果たします。

ジュニアシート卒業の目安

身長が145cmを超えたお子さまは、車のシートベルトのみでご乗車いただけます。

※ショルダーベルトがしっかり肩にかかることをご確認ください。



梱包品と組み立てかた

組み立て前に下記の各部品がそろっていることを確認してください。

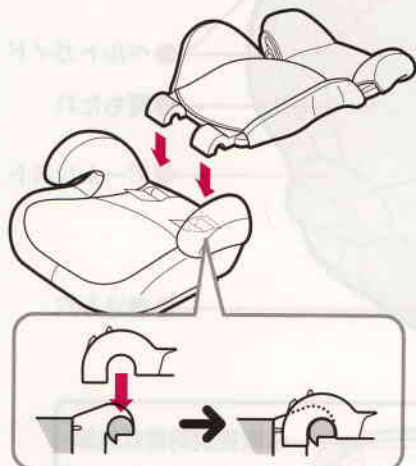
梱包品	ジュニアシート座面部	1
	ジュニアシート背もたれ	1
	取扱説明書(本書)	1

組み立てかた

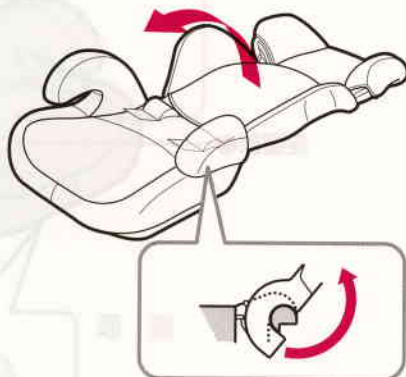


組み立てたジュニアシートを運ぶときは、座面部から背もたれがはずれることのないよう、しっかりと支えてください。

- 1** 図のように、座面部の差込み穴に背もたれの下端を合わせます。



- 2** 背もたれの下端を差込み穴に差込みながら、背もたれを立てます。
※このとき、座面部のシートクッションがはさまらないようにしてください。



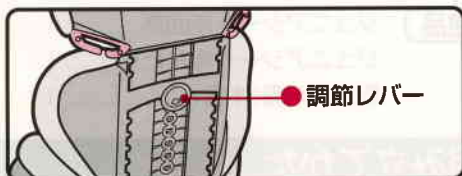
- 3** 背もたれを前後に押して、下端が確実に接続されていることを確かめます。



はじめにお読みください

各部のなまえ

裏 面



ヘッドレスト

シートクッション

座面部

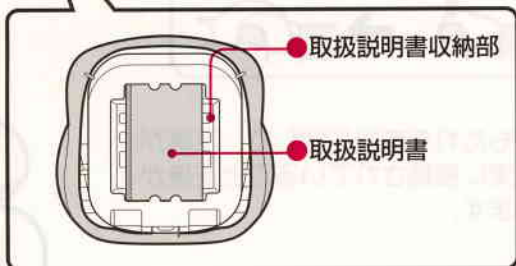
ベルトガイド

背もたれ

アームレスト

差込み穴

底 面



使いかた

1 車の座席に置く

車の座席のヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてください。

車の座席の形状などにより、取り付けできない場合があります。2ページをご覧ください。

危険

- エアバッグが装備された座席ではジュニアシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。エアバッグの装備されていない座席で使用してください。
- 座席の種類などにより、ジュニアシートをしっかりと付けられない場合は、使用しないでください。本来の機能をはたさず大変危険です。

警告

2ドア、3ドア車で後座席に人が乗車する場合は、助手席にはジュニアシートを取り付けしないでください。緊急時の脱出の妨げになります。

ジュニアシートを前向きに車の座席に置きます。



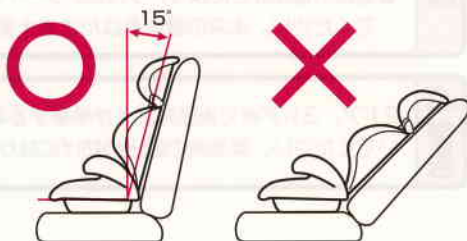
2 背もたれの角度を調節する

ジュニアシートの背もたれと車の座席の間のすき間が、できるだけ小さくなるように調節してください。



車の座席がリクライニングできる場合は、できるだけ立てて使用してください。極端に倒した状態で使用すると、事故などの衝突時に本来の機能をはたさず、危険です。

車の座席角度に合わせて、15° 前後の傾きで使用してください。
角度を確かめるときは、本書裏表紙の角度チェッカーをご利用ください。



3 お子さまを座らせる

ジュニアシートは、シートベルトを締めていない状態では不安定です。保護者の方の補助なしでお子さまが1人で座れると、車の座席からずれ落ちたり倒れたりするおそれがあります。必ず保護者の方がジュニアシートに座らせてください。

お子さまを、ジュニアシートに深く座らせてください。



お子さまを図のように座らせると、ジュニアシートが本来の機能をはたさず、危険です。



お子さまが、体を左右どちらかに傾けて座っている。

中腰・正座・立てひざなどをする。



背もたれと座面の間に衣服を挟むおそれがあります。注意してください。

4 ベルトガイド(ヘッドレスト)の高さを調節する



- ベルトガイド部は、車のシートベルト(肩ベルト)がお子さまの正しい肩の位置で締められるように調節するものです。お子さまの成長に伴い、ベルトガイド部が低くなったときには、ヘッドレストの高さを調節し直してください。
- お子さまの後頭部が、ヘッドレストの一番高い位置よりも上に出る場合は、背もたれを取りはずしてご使用ください。(16ページ参照) そのまま使用すると、事故などの衝突時に、大変危険です。

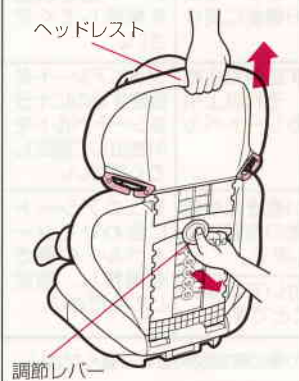
ベルトガイド(ヘッドレスト)の高さの目安

ベルトガイドを、お子さまの肩の高さよりも、少し上の位置にしてください。

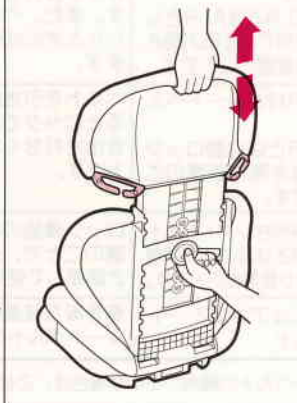


ベルトガイド(ヘッドレスト)の高さ調整

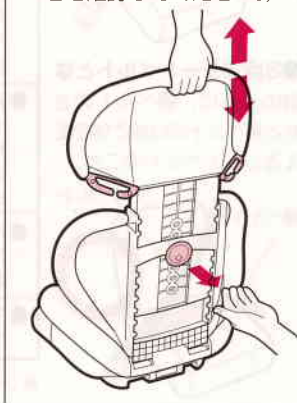
- ① ヘッドレストに手をかけ、引き上げながら
② 調節レバーを引きます。



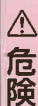
- 2 そのままヘッドレストを上下させて、位置を合わせてください。



- 3 調節レバーから手を離し、固定されていることを確認します。(ヘッドレストを上下に動かして、動かないことを確認してください。)



5 シートベルトを締める



- 3点式シートベルトの座席に取り付けてください。2点式シートベルトの座席には、使用しないでください。
- お子さまが座っていないときでも、ジュニアシートは必ずシートベルトで取り付けてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなることがあります。



- チャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、固定機能を働かせないでください。お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。(詳しくは、下の表をご覧ください。)
- シートベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。
- 車のシートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けしないでください。

シートベルトの種類と特徴 (ジュニアシートは3点式のみでご使用いただけます)

●2点式シートベルトとは
図のように、腰ベルトの左右の2点で体を支えるシートベルトのこと。

腰ベルト



●3点式シートベルトとは
図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で体を支えるシートベルトのこと。

腰ベルト

肩ベルト



シートベルトの種類	特 徴	取り付け上の注意点
●ELR付きシートベルト …ELRとは緊急ロック式ベルト巻き取り装置のことです。	通常は、ゆっくりと引くとベルトが自由に出入りし、急ブレーキや衝突などの衝撃を感知したときだけ固定機能が働き、ベルトが固定されるシートベルトです。	ジュニアシートは、2点式シートベルトでは、使用できません。
●A/ELR付きシートベルト (チャイルドシート固定機能付きシートベルト) …A/ELRとはALRとして使用できるELR巻き取り装置のことです。	通常は、ELRベルトとして機能しますが、ベルトを全部引き出すとELR機能が解除され、ベルトを戻すと自動的にロックされるシートベルトです。また、ベルトをすべて戻したときにはELR機能に戻ります。	シートベルトを全部引き出した状態では危険です。ベルトを戻してチャイルドシート固定機能を解除してください。
●ALR付きシートベルト …ALRとは自動ロック式巻き取り装置のことです。	ベルトを引き出す途中で止めるとロックされ、それ以上引き出されなくなるシートベルトです。	ジュニアシートを固定するのに十分なシートベルトを引き出して固定してください。
●NLR付きシートベルト …NLRとは非ロック式巻き取り装置のことです。	ロック機能のない巻き取り装置のことで、任意の位置で長さ調節して使用します。	ジュニアシートに合わせてシートベルトの長さを調整し、固定してください。
●マニュアル式シートベルト	巻き取り装置の付いていないシートベルトのことです。	

※シートベルトの種類が不明な場合は、ご使用の車の取扱説明書をご覧ください。

- 1** 車のシートベルトを引き出し、肩ベルトをベルトガイドに通し、腰ベルトをアームレストの下に通します。
その際、必ず腰ベルトがお子さまの腰骨にかかるように締めてください。



- 2** 肩ベルトが、お子さまの肩よりも少し高い位置を通っていることを確認してください。

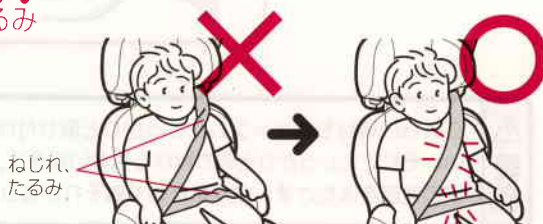
肩ベルトがお子さまの肩よりも下から出ている場合には、「ベルトガイド(ヘッドレスト)の高さを調節する」(12ページ)をご覧ください、ベルトガイドの高さを調節してください。

このとき肩ベルトがお子さまの首にあたらないよう、十分注意してください。

- 3** 差し込み金具を反対側のアームレストの下側に通し、『カチッ』と音がするまで、しっかりとバックルに差し込みます。



- 4** シートベルトに、**ねじれ**や**たるみ**がないことを確認します。

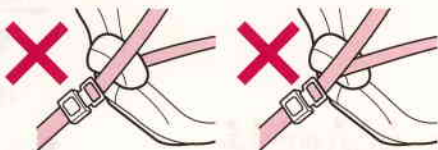


6 取り付け完了のチェック

取り付けが終わったら、ジュニアシートが正しく取り付けられているか、次のことを確認してください。

- 
- ベルトガイド(ヘッドレスト)の高さが正しく調節されていること
 - 車の座席とジュニアシートの間のすき間が、できるだけ小さいこと。
 - 肩ベルトがお子さまの首を圧迫していないこと。
 - シートベルトがお子さまの体に密着していて、ねじれやたるみがないこと。
 - 差込み金具が、バックルにしっかりと差し込まれていること。
 - シートベルト(腰ベルト)がお子さまの腰骨を押さえていること。

- シートベルト(肩ベルト・腰ベルト)がアームレストの下を通っていること。



これらの項目をチェックし、しっかりと取り付けられていない場合は、再調節してください。それでもしっかりと取り付けられない場合は、その座席では使用しないでください。本来の機能をはたさず、危険をまねくおそれがあります。

背もたれをはずして使うには

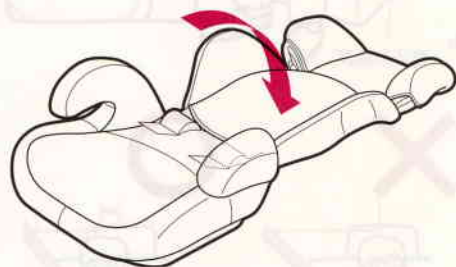
背もたれをはずす目安

次の3つのいずれかで1つでもあてはまった場合は、背もたれをはずして座面部のみでご使用ください。

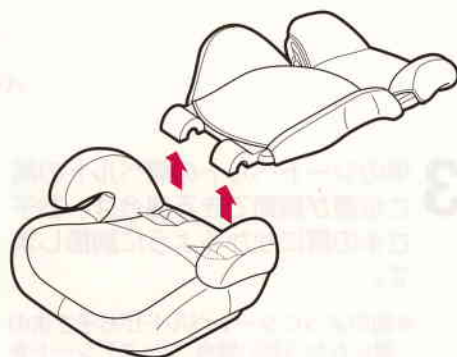
- お子さまの頭が背もたれよりも上に出た場合
- お子さまの体重が22kgを超えた場合
- お子さまの身長が130cmを超えた場合

1 背もたれをはずす

1 背もたれを後ろに倒します。



2 背もたれを、差し込み穴から引き抜きます。



背もたれをはずして使うには

2 お子さまを座らせシートベルトを締める

背もたれをはずして使用する場合、車の座席のヘッドレストをはずさないでください。

1 座面部を座席に置き、その上にお子さまを座らせます。

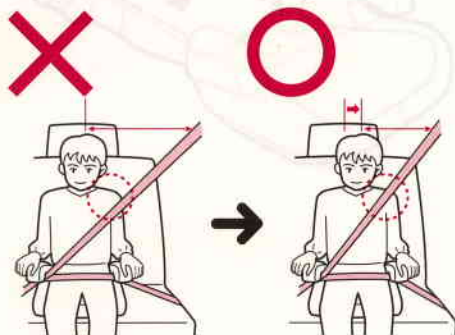
2 大人と同じように、3点式シートベルトを締めます。

腰ベルトを左右のアームレストの下に通し、差し込み金具を「カチッ」と音がするまで、しっかりとバックルに差し込みます。肩ベルトをお子さまの肩にかけます。

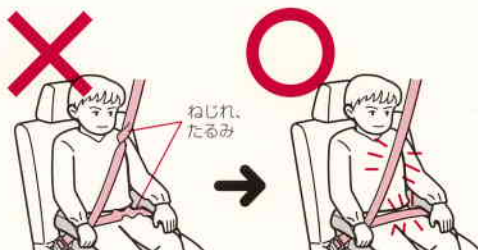


3 車のシートベルトの肩ベルトの高さ位置が調節できる場合は、お子さまの肩にかかるように調節します。

※図のようにシートベルトがお子さまの肩にかからない場合、ジュニアシートを左右に移動してください。(シートの形状によりずらせない場合があります)



4 シートベルトがお子さまの体に密着して、ねじれやたるみがないことを確認します。



3 取り付け完了のチェック

取り付けが終わったら、ジュニアシートが正しく取り付けられているか、次のことを確認してください。

●車の座席のヘッドレストがはずされていないこと。

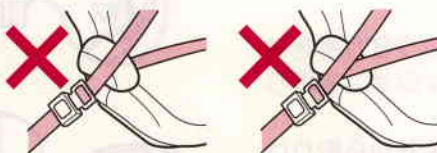
●シートベルトがお子さまの首を圧迫していないこと。

●シートベルトがお子さまの体に密着していて、ねじれやたるみがないこと。

●差込み金具が、バックルにしっかりと差し込まれていること。

●シートベルトがお子さまの腰骨を押さえていること。

●シートベルト(肩ベルト・腰ベルト)がアームレストの下を通っていること。



これらの項目をチェックし、しっかりと取り付けられていない場合は、再調節してください。それでもしっかりと取り付けられない場合は、その座席では使用しないでください。本来の機能をはたさず、危険をまねくおそれがあります。

背もたれをはずして使うには

お手入れのしかた

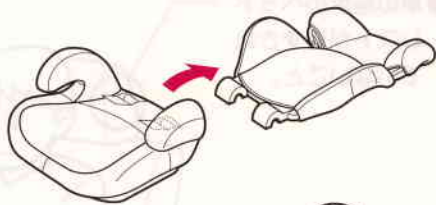
シートクッションの取りはずしかた



注意

シートクッションをはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取り替えたりしないでください。(安全性能に影響を与えるおそれがあります)

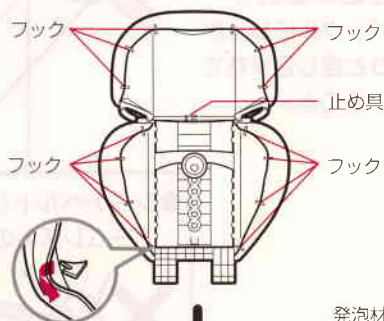
- 1** ジュニアシート座面部と背もたれ
をはずします。



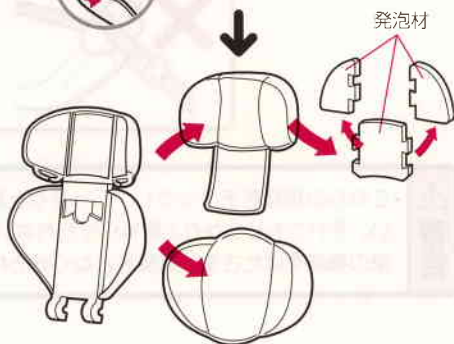
- 2** 座面部裏側のフック4カ所をはず
して、シートクッションを取りは
ずします。



- 3** ヘッドレスト背面の止め具と、
フック6カ所をはずして、シート
クッションを取りはずします。



- 4** 背もたれ背面のフック8カ所をはず
して、シートクッションを取りは
ずします。
その際、ヘッドレストから取りは
ずした発泡材を紛失しないよう
にしてください。



シートクッションの取り付けかた

- 1 座面部、背もたれ、ヘッドレストにシートクッションをかぶせます。
- 2 シートクッションを、座面部4カ所、背もたれ8カ所、ヘッドレスト6カ所のフックに引っかけます。
- 3 ヘッドレスト背面の止め具を留めます。
(車のシートを傷つけるおそれがありますので、止め具の裏表をまちがえないようにしてください。)



シートクッションの洗いかた

シートクッションを洗濯するときには、次のことを守ってください。

	液温は30℃を上限として手洗いしてください。		漂白剤は使用しないでください。
	アイロン掛けはしないでください。		ドライクリーニングはしないでください。
	手絞りの場合は弱く、洗濯機脱水の場合は短時間で行ってください。強く絞ると、シワが残ることがあります。		日陰で平干ししてください。

※蛍光増白剤を含まない洗剤を使用してください。

本体のお手入れのしかた

通常は、かたく絞った布で水ぶきしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水ぶきし、日陰で乾燥させてください。

警告 中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体を傷めるおそれがあり、危険です。

保管のしかた

本体

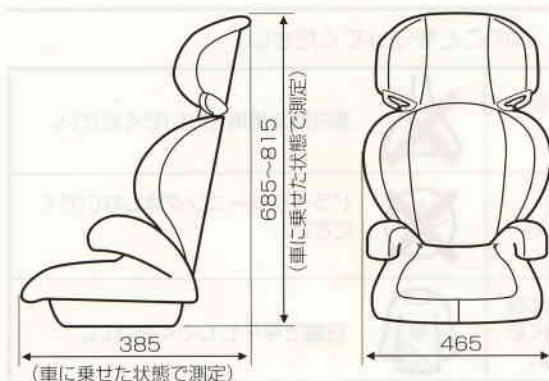
長期間使用しないときは、車から降ろし、風通しが良く、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

取扱説明書

取扱説明書(本書)は、よくお読みのうえ、座面部の底面に挟み込んで保管してください。

製品仕様

製品サイズ



製品重量：3.4kg

ケースサイズ：(W)658×(D)468×(H)286mm

ケース入り重量：4.4kg

材質：●本体…ポリプロピレン

●シートクッション

表生地…ポリエステル、綿混紡

クッション材…ウレタンフォーム、発泡材

COMBI

コンビ

マキシコシ

ジュニア

ジュニアシートを垂直にします。

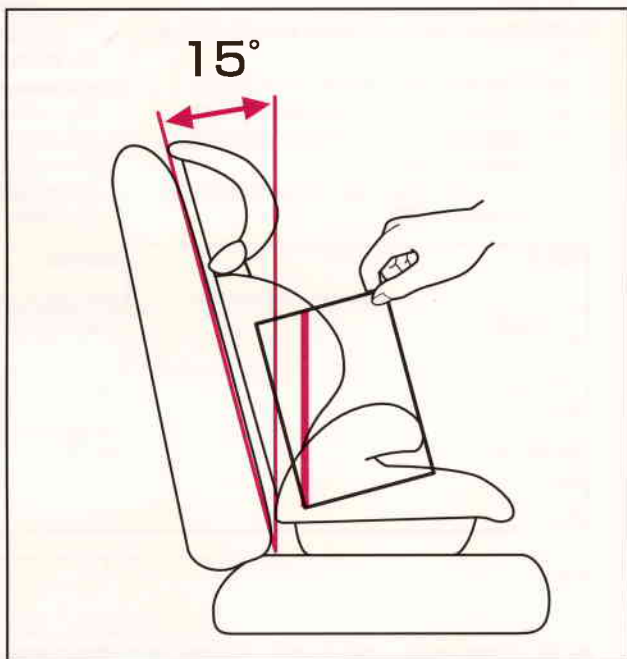
角度チェッカー

ジュニアシートを車に取り付けたときの、正しい角度の目安としてご利用ください。

ジュニアシートを車の座席角度に合わせて、15度前後に傾けます。

図のように、本書をジュニアシートの背もたれに合わせます。

赤いラインが垂直になったら、約15度の角度です。



コンビ株式会社

製品にお気づきの点がございましたら、「お客様相談室」までご連絡ください。

お客様相談室／〒339-0025 埼玉県岩槻市釣上新田271

TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

お客様相談室／〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場2-1-10

(西日本担当) TEL. (06) 6263-4031 FAX. (06) 6263-4533